

図書室蔵書インターネット予約事業

教育部国分図書館

事業費：18,000千円

事業の概要

図書館での新型コロナウイルス感染症対策として、予約した本の受け渡し为非接触で可能となる、インターネット予約システムの拡充並びに国分図書館の外（シビックセンター内）に設置した貸出ロッカーでの受取りを令和3年4月から開始した。一方、国分、隼人図書館と分室である5つの図書室とでは、異なる図書館システムを使用しているため、インターネット予約は国分・隼人図書館の蔵書のみ可能であり、市全体の約17%を占める約6万9千冊の蔵書はインターネットによる検索・予約はできない状況である。

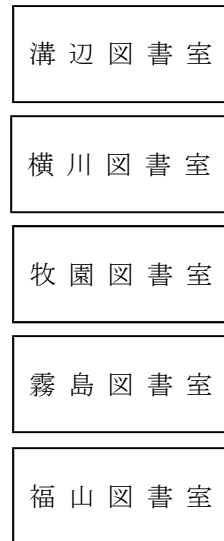
システムを統一し、市内のすべての蔵書をインターネットにより検索・予約できるようにし、全図書館・図書室に貸出ロッカーを設置することで、既に設置している返却ポストの利用とあわせ、希望する方は図書館職員と全く接触することなく、また図書館・室の休館や閉館などに関係なく、本を借り、返却することが市内全図書館・図書室で可能となる。

事業内容・事業費内訳等

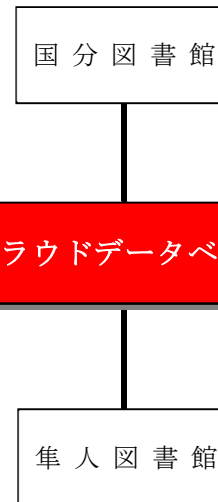
1 事業費

①システム導入費	
システム導入	4,900,000円
ハードウェア関連	5,175,000円
②貸出ロッカー	2,600,000円
③保守点検料（5年）	3,075,000円
④回線費用（5箇所）	265,000円
⑤IP1費用（3月分）	150,000円
⑥図書利用カード	197,000円
計	16,362,000円
税込計	18,000,000円

（追加システム）



（従来システム）



（事業導入後の成果）

